



【流行の兆し風疹】

国立感染症研究所の報告によると今年になって報告された風疹患者数は10月で1000人を超す大流行の兆しをみせています。患者は30～50代男性が中心となっています。風疹ワクチンの定期接種は、現在男女ともに幼児期に行われています。以前は、女性だけをワクチン接種の対象としており、昭和54年4月1日以前に生まれた男性は、接種機会がありませんでした。そのため風疹の免疫を持っていない方が多く、風疹にかかりやすい年齢と言われ、症状が出る1週間前から感染力があるため気づかないうちに感染している可能性があります。

主な症状は38℃前後の発熱や細かい発疹、リンパ節の腫れ、眼球結膜充血などです。感染してから発症するまでの潜伏期間は14～21日です。大人の中でも、特に風疹に注意が必要なのは、妊娠中の女性です。なぜなら、妊娠中に風疹にかかると、赤ちゃんにウイルスが胎内感染し、「先天性風疹症候群」という障害をもたらされる可能性があります。



咳やくしゃみで飛び散る唾液などの分泌物に風疹ウイルスが混じっていることで飛沫感染をします。会話をしているだけでも風疹ウイルスを含んだ飛沫が1～2メートルくらいは飛び散ります。流行時期には人混みや流行地域を避けるなど、特に気をつけて対策する必要があります。マスクの着用、手洗い、うがいを意識して行い、手にふきかける消毒液を用意するなど、衛生面にも注意を払いましょう。ただし、マスクで完全に防げるというわけではないので、感染を予防するのであればワクチンが有効です。風疹にかかったことがあるか、はっきりわからないという人は、免疫の状態を調べる「抗体検査」を受け、必要に応じてワクチンを接種しておきましょう。

【11月の外来のご案内】

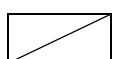
- 形成外科外来 11/10(土)、17(土)
- 内科外来 11/2(金)大平先生不在のため休診となります。
- 外科外来 11/22(木)星野先生不在のため休診となります。
11/24(土)岡部先生不在のため、代診は倉林先生となります。
- 整形外科外来 11/2(金)金子先生不在のため休診となります。

11月の外来診療案内

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

12月の外来診療案内

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					



午後休診日



休診日

TEL: 0284-71-0181

<http://www.anz.or.jp/>

【発行：医療法人杏林会 今井病院 広報委員会】